

だいじょうぶ
つながる
こそだて

だっこ通信

第69号 2026. 4月発行



すみませんからありがとうへ

子どもが大声を出して騒いだり泣いたり・・・外出先でもよくある光景です。周りに迷惑をかけてるなあ、うるさくしてごめんなさい、そう思うと口癖のように出てくるのが「すみません」の言葉。わざとじゃないし、気を付けてもいるけど、子どもは大人の思い通りには動いてくれません。そんな時は遠慮しないで周りに助けを求め、頼っていいと思います。「すみません」から「ありがとう」へ、感謝の言葉を増やすチャンスです。



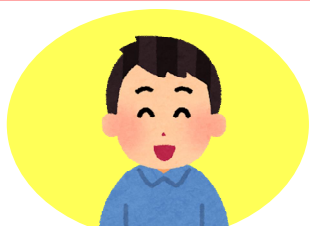
温かく見守ってくれてありがとう



片付けてくれてありがとう



助けてくれてありがとう



感謝の言葉を使うことで自分自身も**幸福な気持ち**になり、**行動や思考が前向き**になれます



困った時や何か問題が起きた時に、**周りの人に助けを求めやすくなります**



感謝の気持ちを伝えることで、**相手との良好な人間関係を築きやすくなります**



オンフーのつぶやき



周りの大人がふだんから「ありがとう」を自然に口にしていると、子どももいつの間にか使うようになるよね。まずは大人が意識して「ありがとう」を使っていきたいって思うよ。「手伝ってもらえて助かったな」「子どもが泣いている時、声をかけてもらえて嬉しかったな」・・・ほんの小さなことでもいいと思うんだ。「すみません」と謝ることももちろんあるだろうけど、「ありがとう」と言うことで**気持ちが前向きになる気がするよ**。それに、周りの人も気軽に手を貸しやすくなるんじゃないかなあ。



「〇〇してくれてありがとう」その一言で、言われた人も嬉しくなるよね。「いいのいいの、気にしなくて大丈夫。だってお互いさまなんだから。」そんな風に一人ひとりが誰かを支え、誰かに支えられているって尊い！

発行者：さくら市生涯学習課（担当 s.suzuki）